

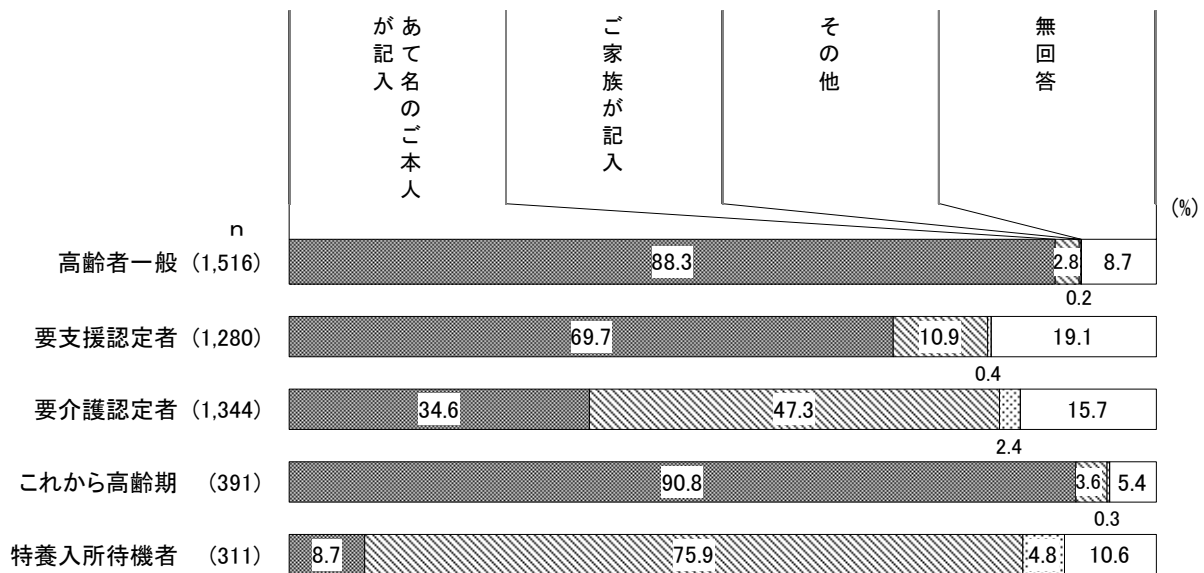
## 第2章 高齡者基礎調查



## 1. 回答者の基本属性

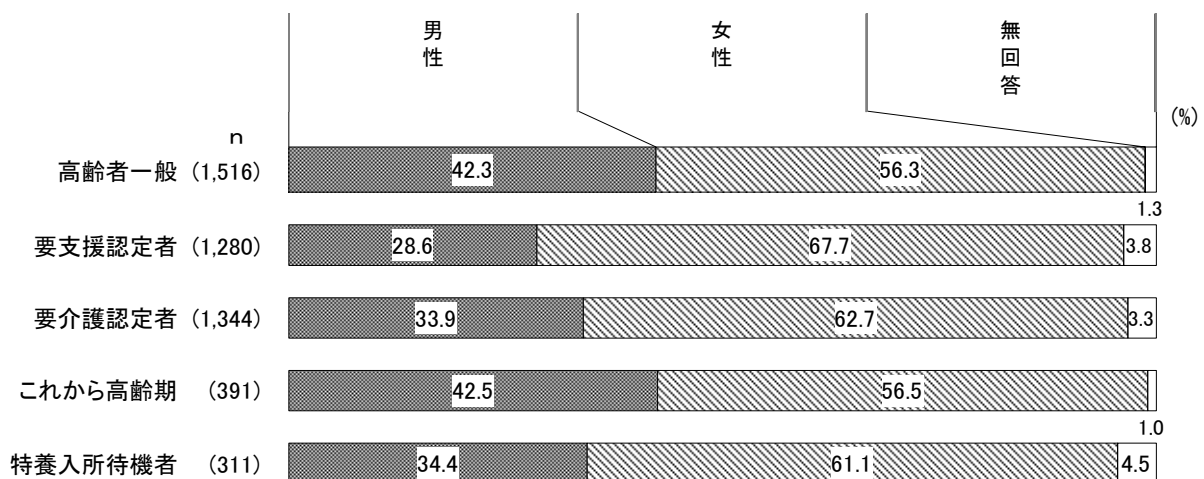
### (1) 調査票の記入者

- 高齢者一般では、「あて名のご本人が記入」が88.3%、「ご家族が記入」が2.8%となっている。
- 要支援認定者では、「あて名のご本人が記入」が69.7%、「ご家族が記入」が10.9%となっている。
- 要介護認定者では、「あて名のご本人が記入」が34.6%、「ご家族が記入」が47.3%となっている。
- これから高齢期では、「あて名のご本人が記入」が90.8%、「ご家族が記入」が3.6%となっている。
- 特養入所待機者では、「あて名のご本人が記入」が8.7%、「ご家族が記入」が75.9%となっている。



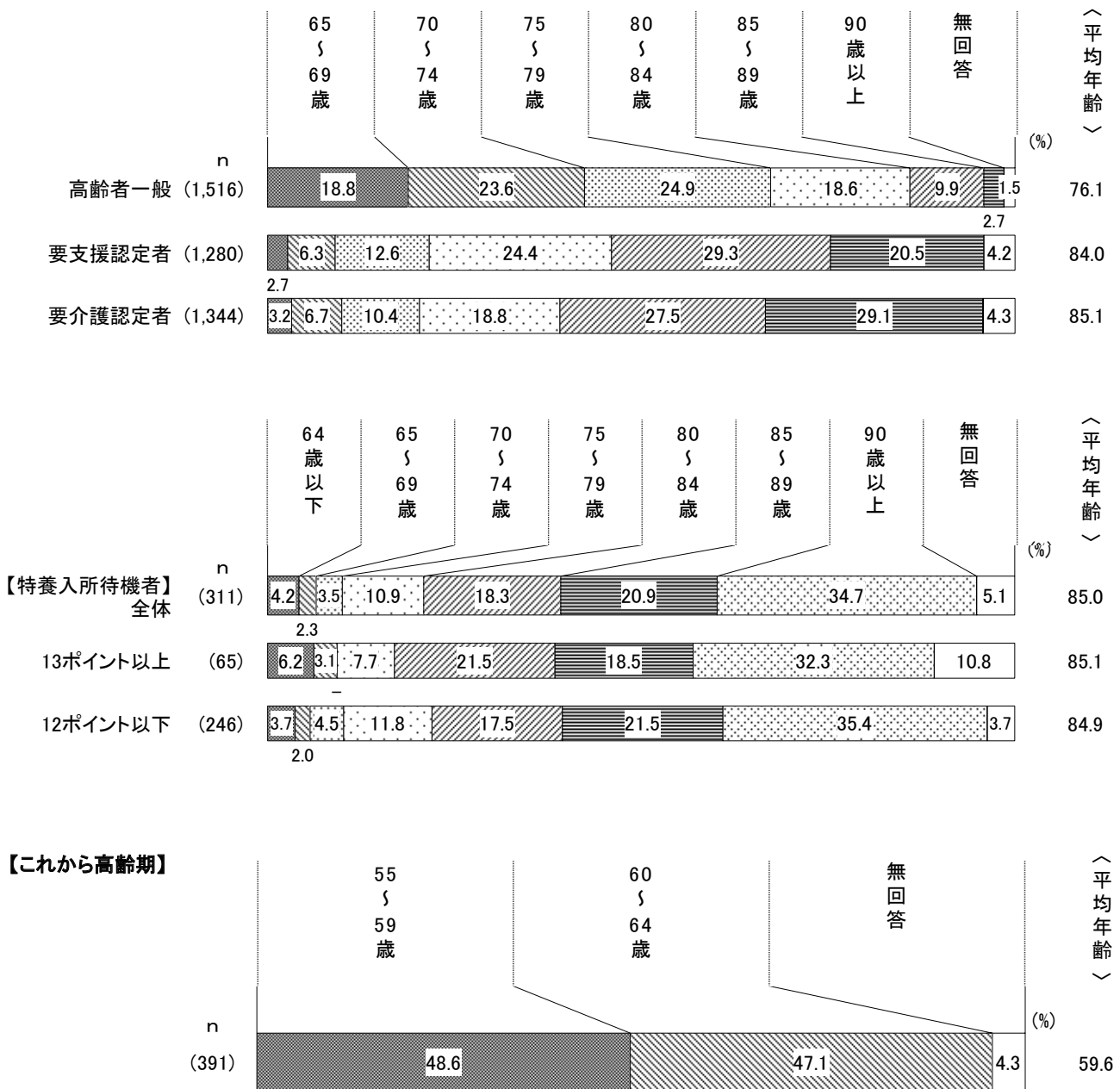
### (2) 性別

- いずれの調査でも「女性」の割合が高く、5割半ばから7割近くとなっている。



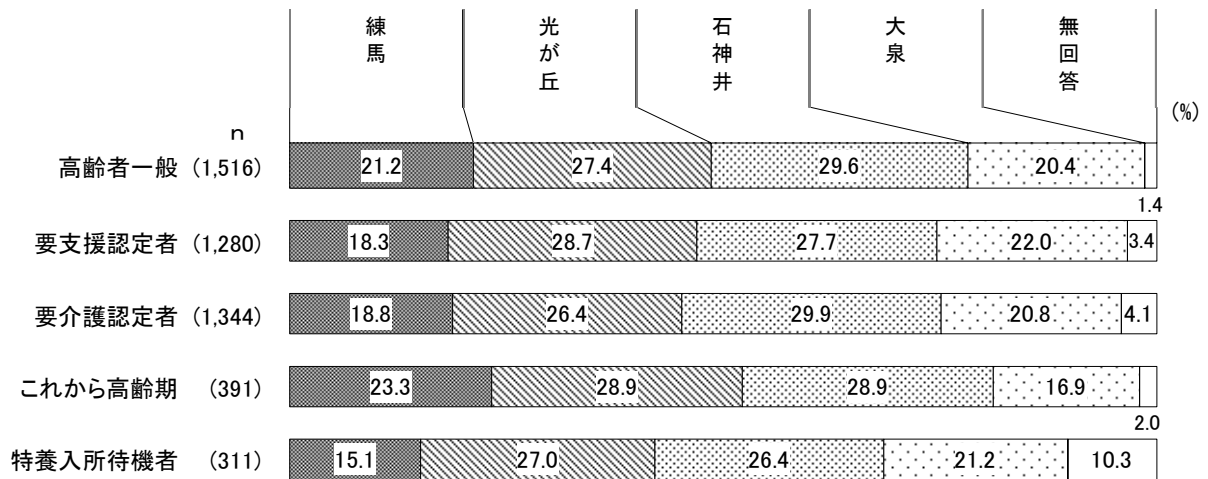
### (3) 年齢

- 高齢者一般では、前期高齢者が4割超、後期高齢者が5割半ばで、平均年齢は76.1歳となっている。
- 要支援認定者では、前期高齢者が約1割、後期高齢者が8割半ばで、平均年齢は84.0歳となっている。
- 要介護認定者では、前期高齢者が約1割、後期高齢者が8割半ばで、「90歳以上」が3割近くとなっている。平均年齢は85.1歳となっている。
- 特養入所待機者では、後期高齢者が8割半ばで、平均年齢は85.0歳となっている。
- これから高齢期では、「55歳～59歳」が48.6%、「60歳～64歳」が47.1%で、平均年齢は59.6歳となっている。



#### (4) 居住地区

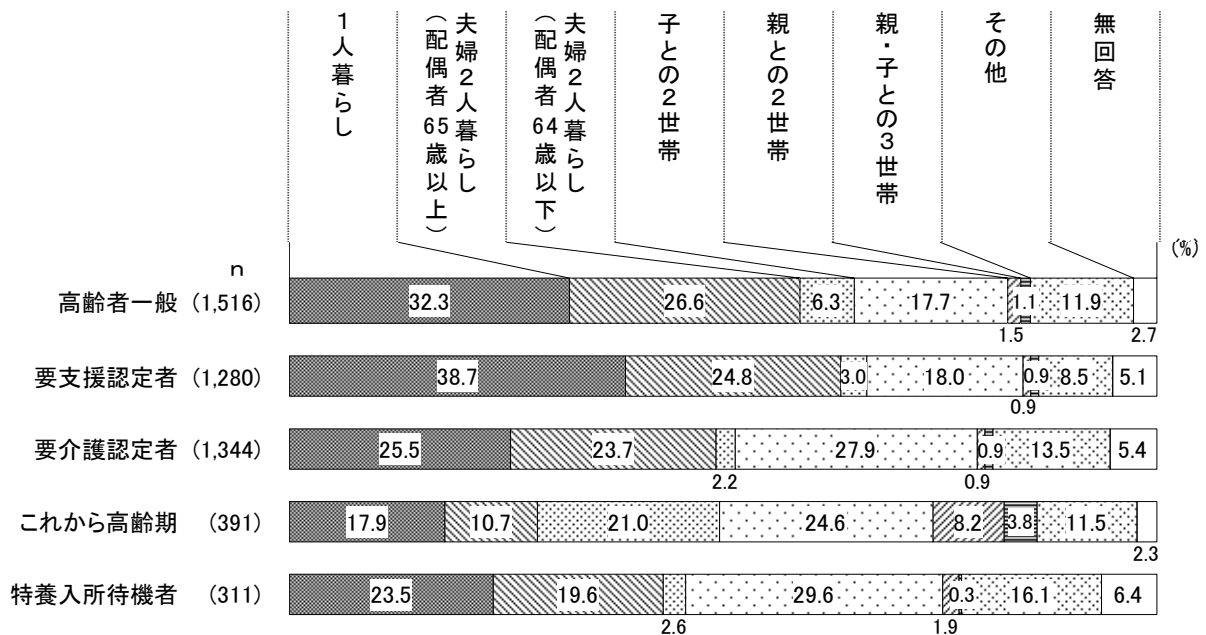
- 高齢者一般では、「練馬」が21.2%、「光が丘」が27.4%、「石神井」が29.6%、「大泉」が20.4%となっている。
- 要支援認定者では、「練馬」が18.3%、「光が丘」が28.7%、「石神井」が27.7%、「大泉」が22.0%となっている。
- 要介護認定者では、「練馬」が18.8%、「光が丘」が26.4%、「石神井」が29.9%、「大泉」が20.8%となっている。
- これから高齢期では、「練馬」が23.3%、「光が丘」が28.9%、「石神井」が28.9%、「大泉」が16.9%となっている。
- 特養入所待機者では、「練馬」が15.1%、「光が丘」が27.0%、「石神井」が26.4%、「大泉」が21.2%となっている。



## (5) 世帯の状況

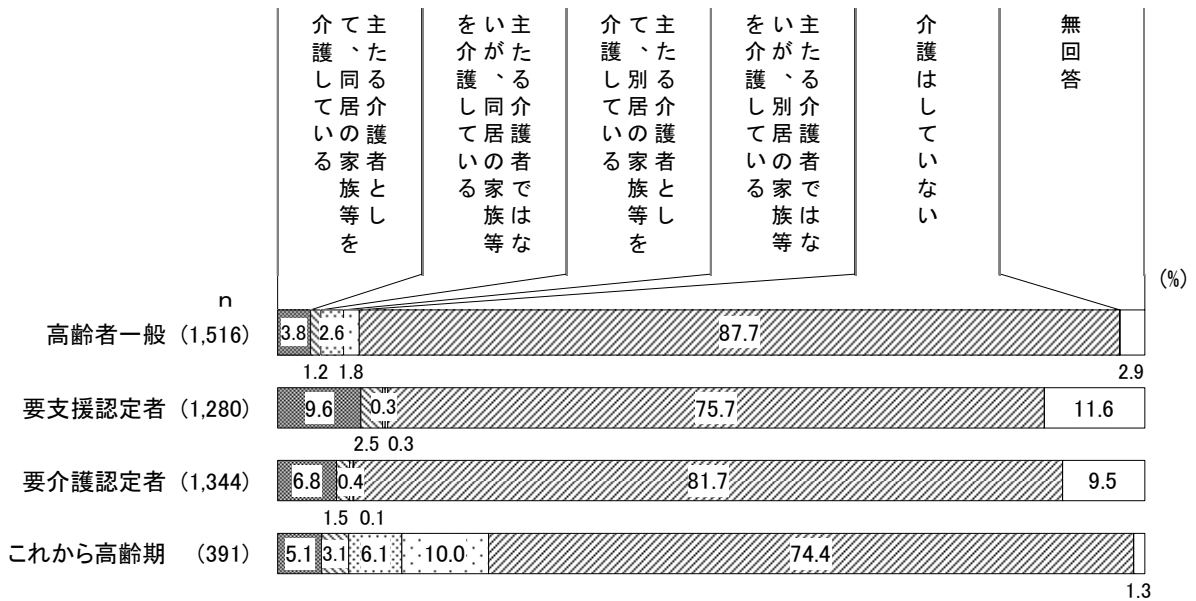
### ①世帯構成

- 高齢者一般では、「1人暮らし」が32.3%、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が26.6%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が6.3%、「子との2世帯」が17.7%、「親との2世帯」が1.5%、「親・子との3世帯」が1.1%となっている。
- 要支援認定者では、「1人暮らし」が38.7%、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が24.8%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が3.0%、「子との2世帯」が18.0%、「親との2世帯」が0.9%、「親・子との3世帯」が0.9%となっている。
- 要介護認定者では、「1人暮らし」が25.5%、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が23.7%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が2.2%、「子との2世帯」が27.9%、「親との2世帯」が0.9%、「親・子との3世帯」が0.9%となっている。
- これから高齢期では、「1人暮らし」が17.9%、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が10.7%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が21.0%、「子との2世帯」が24.6%、「親との2世帯」が8.2%、「親・子との3世帯」が3.8%となっている。
- 特養入所待機者では、「1人暮らし」が23.5%、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が19.6%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が2.6%、「子との2世帯」が29.6%、「親との2世帯」が1.9%、「親・子との3世帯」が0.3%となっている。



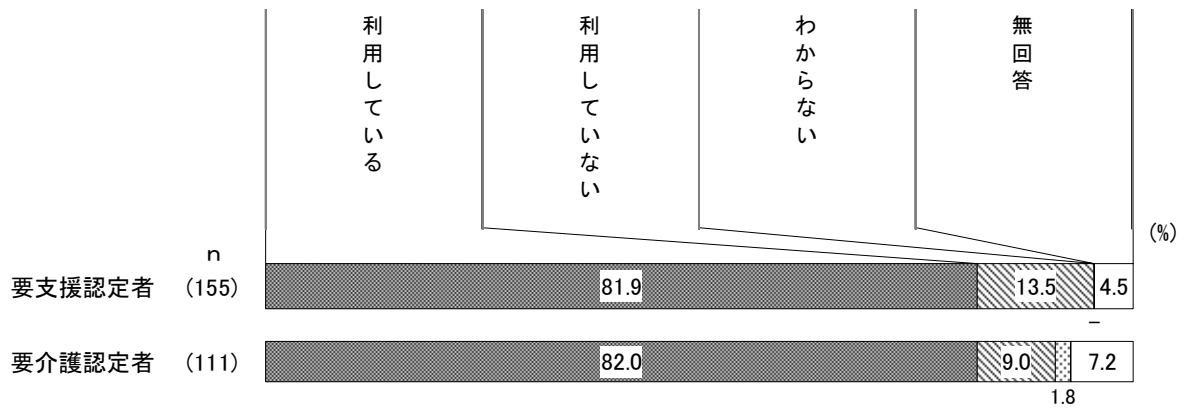
## ②介護の有無

○いずれの調査でも「介護はしていない」が最も高く、7割半ばから9割近くとなっている。



## [ 被介護者の介護保険サービスの利用状況 ]

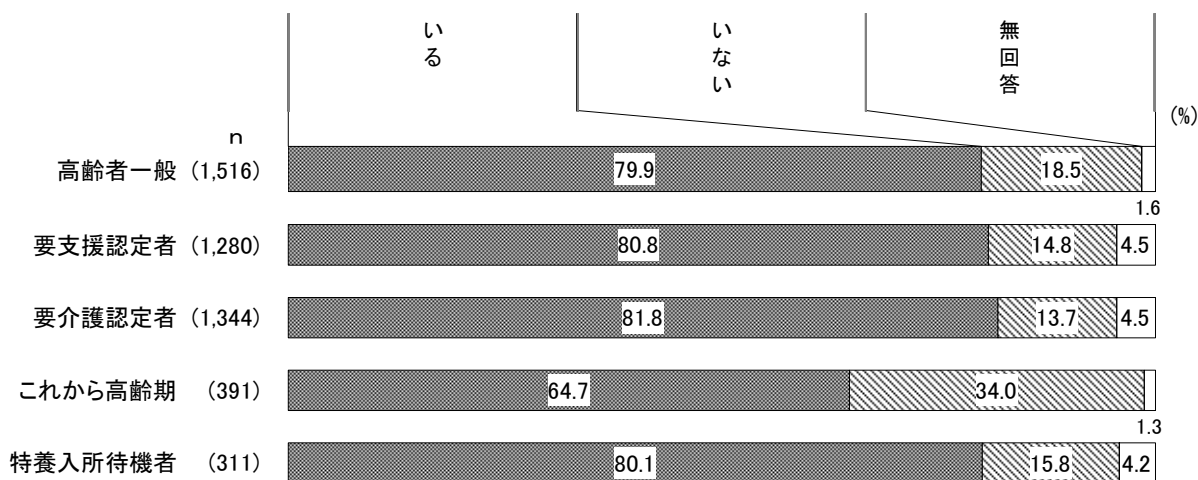
○“介護をしている”と回答した人で、介護保険サービスを「利用している」のは、要支援認定者、要介護認定者ともに8割超となっている。



### ③子どもの有無

○子どもが「いる」は、高齢者一般、要支援認定者、要介護認定者、特養入所待機者で約8割となっている。

○これから高齢期では、子どもは「いない」が3割半ばとなっている。



### [ 年代別 / 高齢者一般、要支援認定者、要介護認定者 ]

○年代別にみると、いずれの調査でも『前期高齢者』は、子どもが「いない」が『後期高齢者』と比べて高くなっている。子どもが「いない」と回答した『前期高齢者』は、高齢者一般が22.7%、要支援認定者が31.9%、要介護認定者が37.6%となっている。

	n	いる (%)	いない (%)	無回答 (%)
高齢者一般	1,516	79.9	18.5	1.6
前期高齢者(65-74歳)	643	76.8	22.7	0.5
後期高齢者(75歳以上)	850	83.4	15.5	1.1

	n	いる (%)	いない (%)	無回答 (%)
要支援認定者	1,280	80.8	14.8	4.5
前期高齢者(65-74歳)	116	65.5	31.9	2.6
後期高齢者(75歳以上)	1,110	84.8	13.5	1.7
要介護認定者	1,344	81.8	13.7	4.5
前期高齢者(65-74歳)	133	60.2	37.6	2.3
後期高齢者(75歳以上)	1,153	87.0	11.4	1.6

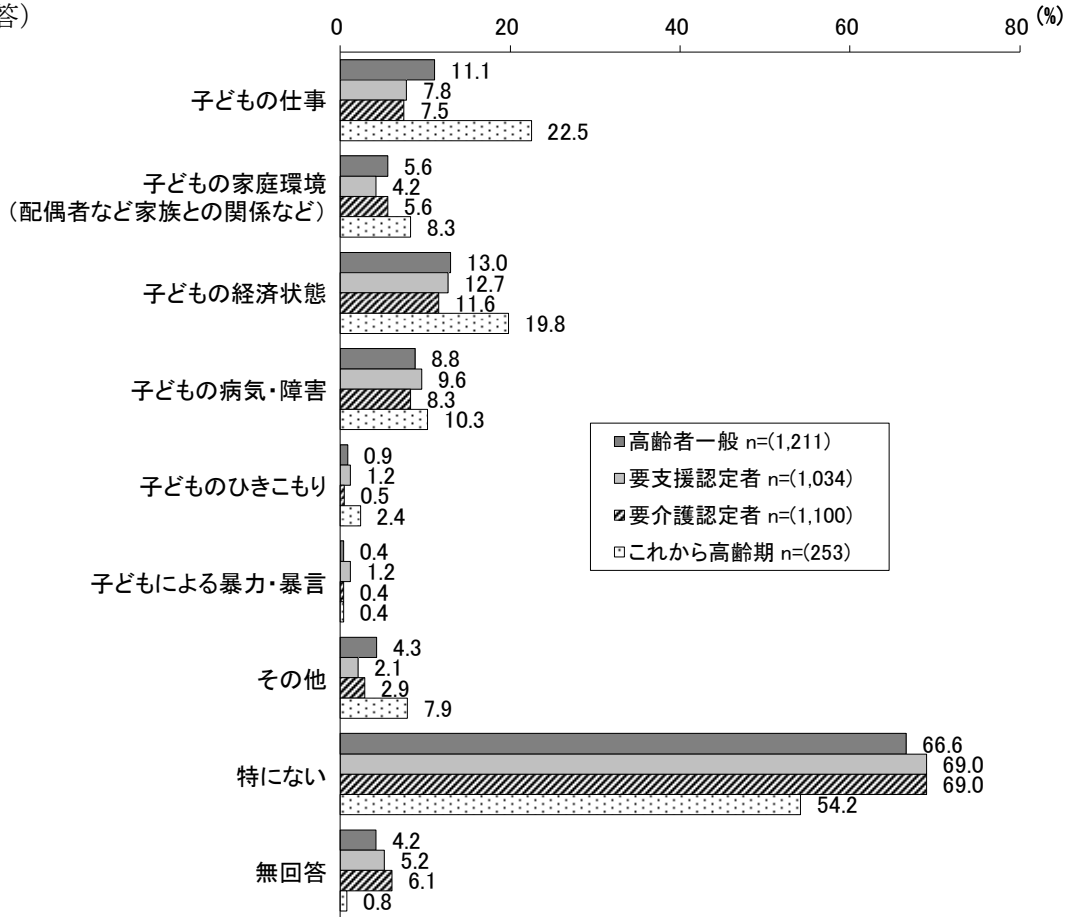


## ④子どもに関する心配ごと

○子どもが「いる」と回答した人の子どもに関する心配ごとは、いずれの調査でも「特にない」が最も高く、5割半ばから7割近くとなっている。

○心配ごととしては、いずれの調査でも「子どもの仕事」、「子どもの経済状態」、「子どもの病気・障害」が上位に挙げられている。これから高齢期では、「子どもの仕事」と「子どもの経済状態」が2割前後と他の調査と比べて高くなっている。

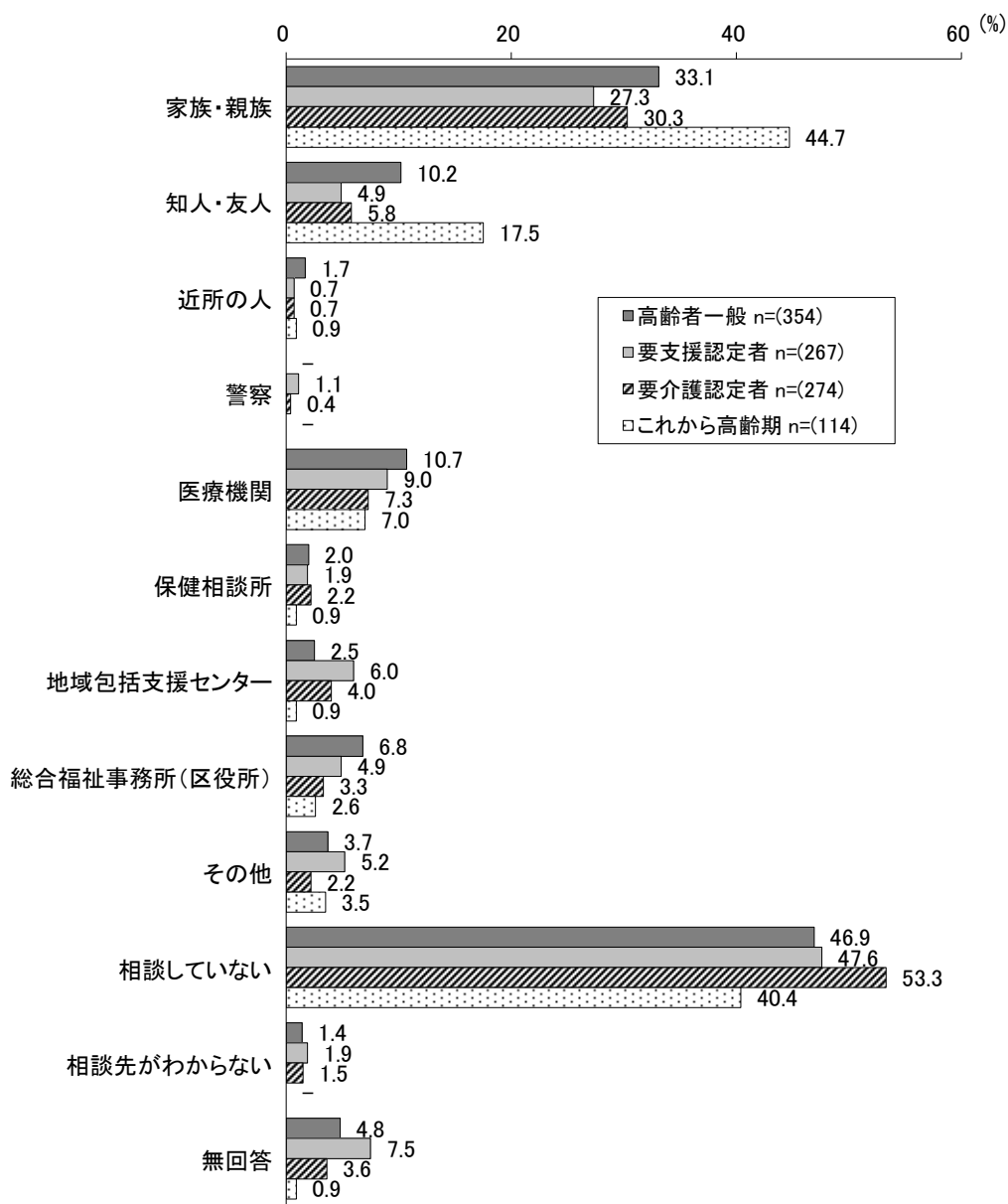
(複数回答)



### ⑤子どもに関する心配ごとの相談状況

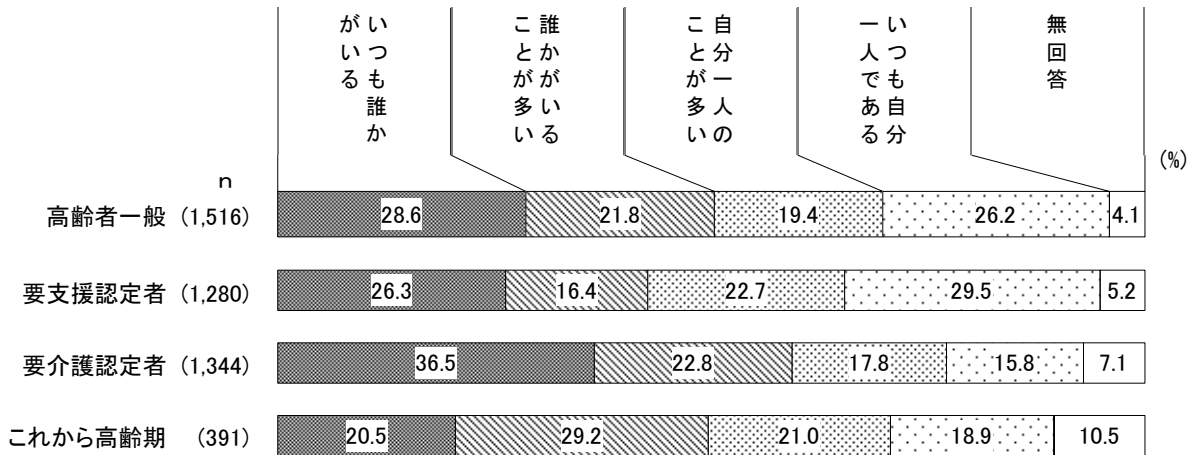
- 何らかの子どもに関する心配ごとがあると回答した人の相談状況は、高齢者一般では、「相談していない」が46.9%となっている。相談している人のなかでは「家族・親族」(33.1%)が最も高く、次いで「医療機関」(10.7%)、「知人・友人」(10.2%)の順となっている。
- 要支援認定者では、「相談していない」が47.6%となっている。相談している人のなかでは「家族・親族」(27.3%)が最も高く、次いで「医療機関」(9.0%)となっている。
- 要介護認定者では、「相談していない」が53.3%となっている。相談している人のなかでは「家族・親族」(30.3%)が最も高く、次いで「医療機関」(7.3%)となっている。
- これから高齢期では、「相談していない」が40.4%となっている。相談している人のなかでは「家族・親族」(44.7%)が最も高く、次いで「知人・友人」(17.5%)、「医療機関」(7.0%)となっている。

(複数回答)



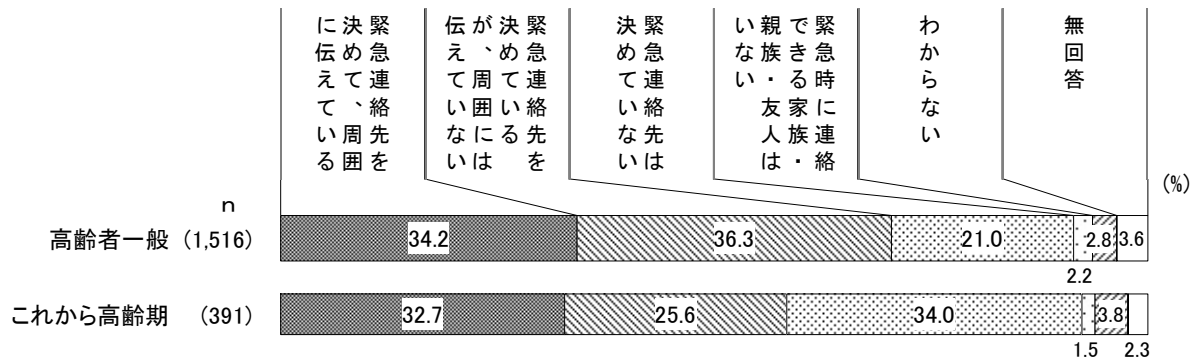
## ⑥日中独居の状況

- 高齢者一般では、“日中独居”（「いつも自分一人である」と「自分一人のことが多い」の合計）は4割半ばとなっている。
- 要支援認定者では、“日中独居”は5割超となっている。
- 要介護認定者では、「いつも誰かがいる」が36.5%で最も高く、“日中独居”は3割半ばとなっている。
- これから高齢期では、“日中独居”は約4割となっている。



## ⑦緊急連絡先の有無

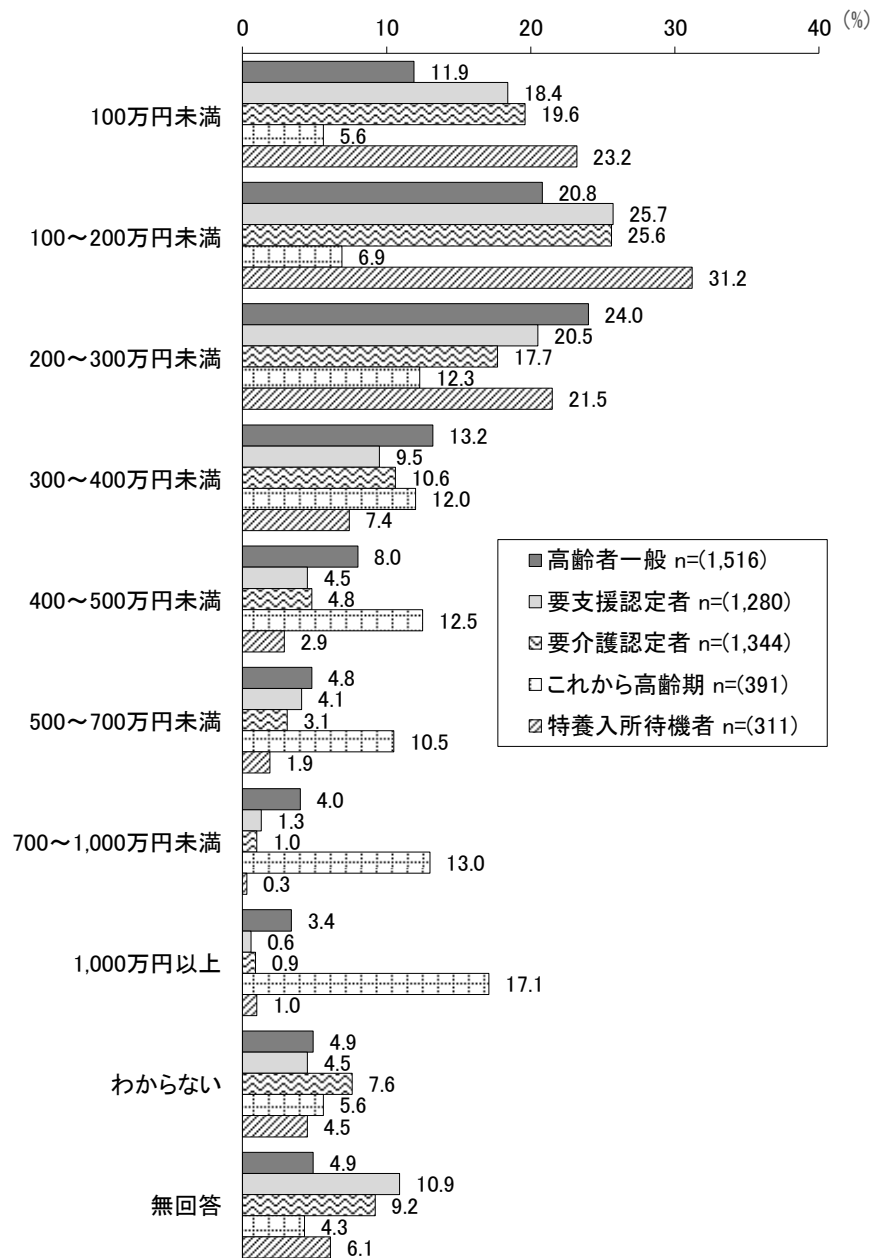
- 高齢者一般では、「緊急連絡先を決めて、周囲に伝えている」が34.2%、「緊急連絡先を決めているが、周囲には伝えていない」が36.3%となっている。「緊急連絡先は決めていない」は21.0%となっている。
- これから高齢期では、「緊急連絡先を決めて、周囲に伝えている」が32.7%、「緊急連絡先を決めているが、周囲には伝えていない」が25.6%となっている。「緊急連絡先は決めていない」は34.0%となっている。



## (6) 暮らし向き

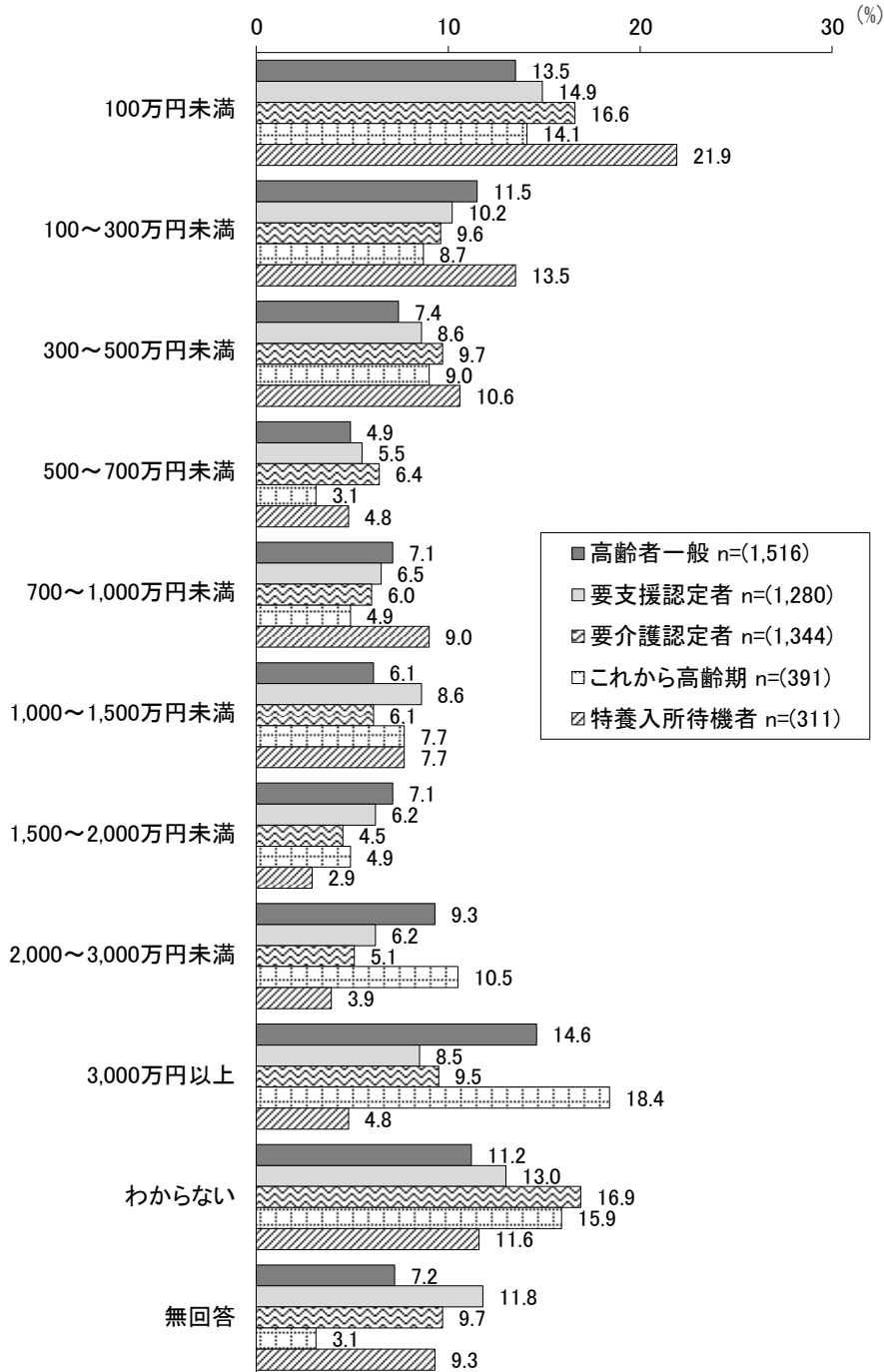
### ①世帯の年収

- 高齢者一般、要支援認定者、要介護認定者では、“300万円未満”（「100万円未満」～「200～300万円未満」の合計）が5割半ばから6割半ばとなっている。
- これから高齢期では、“500万円以上”（「500～700万円未満」～「1000万円以上」の合計）が約4割となっている。
- 特養入所待機者では、“300万円未満”が7割半ばとなっている。



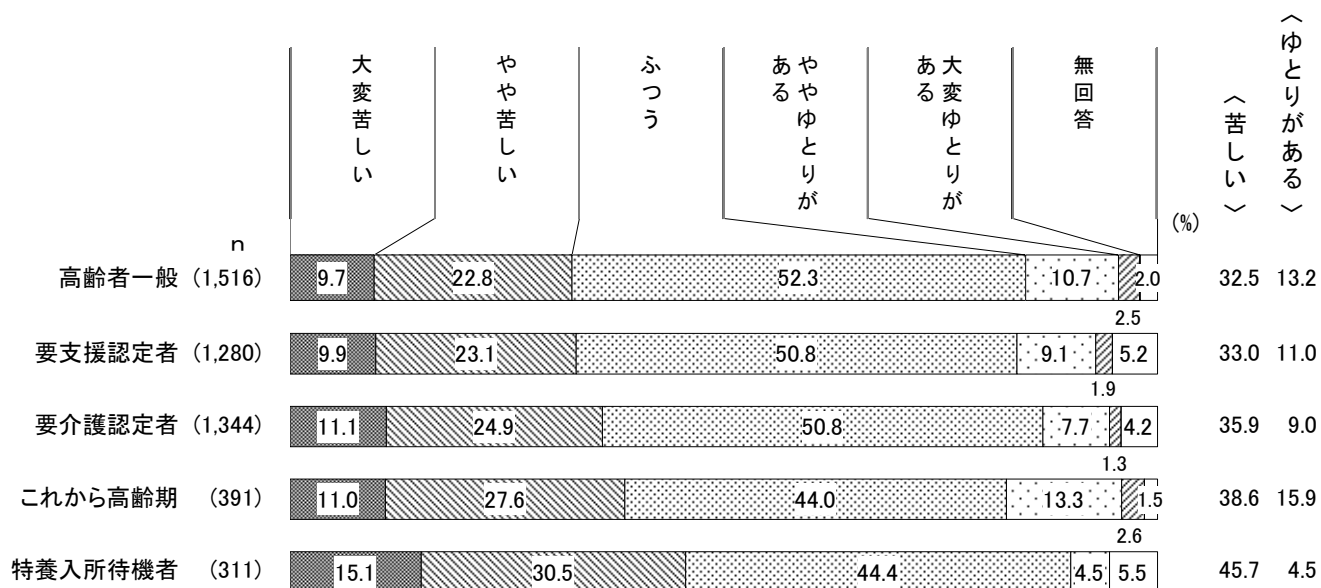
## ②世帯の預貯金

- 預貯金額が「100万円未満」の世帯は、高齢者一般、要支援認定者、要介護認定者、これから高齢期で1割半ば、特養入所待機者で2割超となっている。
- “2,000万円以上”（「2,000～3,000万円未満」と「3,000万円以上」の合計）は、高齢者一般で2割半ば、これから高齢期で約3割となっている。



### ③暮らし向きを感じ方

○ “苦しい”（「大変苦しい」と「やや苦しい」の合計）は、高齢者一般が32.5%、要支援認定者が33.0%、要介護認定者が35.9%、これから高齢期が38.6%、特養入所待機者が45.7%となっている。



### [ 経年比較 / 高齢者一般 ]

○令和元年度の調査結果と比較すると、令和4年度の調査結果は、“苦しい”が1.8ポイント高くなっている。

	n	(%)						苦しい	ゆとりがある
		大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答		
令和4年度	1,516	9.7	22.8	52.3	10.7	2.5	2.0	32.5	13.2
令和元年度	1,447	7.6	23.1	54.4	10.6	2.4	1.9	30.7	13.0